

在来魚に影響を与えない 電気ショッカーボートの運用方法

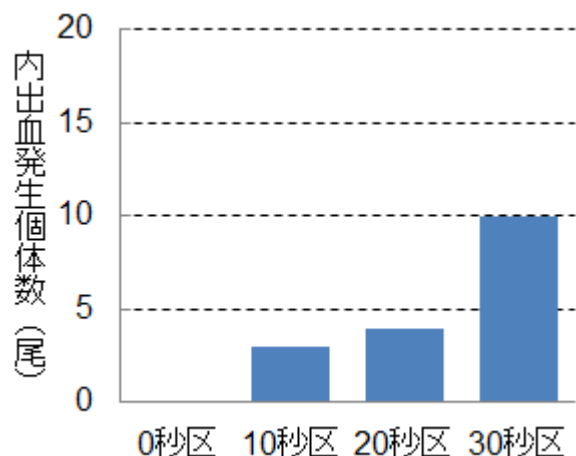
コクチバス等特定外来生物に指定された外来魚は駆除が必要です。外来魚の有効な駆除手法として、電気ショッカーボートがあります。しかし、使用条件によっては、在来魚に悪影響も及ぶことが報告されています。そこで、在来魚に影響を与えない通電時間について調査しました。

実行電圧 1.0~1.8V/cmで、通電時間が 30 秒に達すると、コイ (体長約 12 cm) では、筋肉に内出血を起こす場合があります。しかし、通電時間が 20 秒以下の場合、内出血の発生が減少しました。このように、通電時間の調節により、在来魚への悪影響を抑制可能であることがわかりました。



コクチバス

スズキ目サンフィッシュ科に属する北米原産の淡水魚であり、強い魚食性によって在来魚類に与える影響が大きい。



コイ (体長約 12 cm) における通電時間の違いによる内出血発生状況 (実行電圧は直流 1.8V/cm、各試験区 20 尾を使用)。

通電時間が 20 秒以下であれば、内出血発生率は低い。



電気ショッカーボート

水中に電気を流して外来魚を駆除する。

※本技術は、水産庁委託「健全な内水面生態系復元等推進委託事業」で開発を行いました。

(水産研究所 水産技術担当 TEL 0480-61-0458)